間

0

略 称 ユ 1 ゴ゛ ス ラ ŕŗ 1 アとの 文化 協定

昭 昭和 昭和 昭和 昭和四十四年 昭和四十四年五月十六日 和 四十四年 四十四年四月 四十三年三月 ·五月 五月十六日 十五 日 日 日 公布及び告示 ベルグラードで批准書交換 批准の閣議決定 国会承認 東京で署名 (条約第二号)

四十 四 军 五月十六日 **効**力発生

ージ

学位及び資格証書 相手国文化の研究の奨励 学者等の交換 相手国文化の理解のための措置 五五五五 五五六 五五六 五五五五 五五五五 五五六

第 第

条

条

前

文 目

次

\_

第 第 第

五

条

奨学金

四 三

条 条

	+	九	八	七	六
文	条	条	条	条	条
	批准及び有効期間	協議	運動競技の奨励	博物館等の利用	文化機関間の協力
五五八	五五七	五五七	五五七	五五七	五五七

末

# の文化協定

| 両国間の文と、斗斧及が攻奪でつってつ場系をがて担军で力は、| 日本国政府及びユーゴースラヴィア社会主義連邦共和国政府

長し、かつ、深めることを希望して、両国間の文化、科学及び教育についての関係並びに理解を助

文化協定を締結することに決定し、次の諸条を協定した。

# 第一条

に与えるものとする。 国の文化が一層理解されるように、できる限りの便宜を相互1 両国政府は、特に次の諸手段により、自国内において相手

措の化相 置たの手 め理国 の解文

- a 書籍、定期刊行物その他の出版物
- ゆ 講演、演奏会及び演劇
- 美術展覧会その他の文化的性質を有する展覧会
- d テレビジョン、ラジオその他類似の手段
- (e) 文化的、科学的又は教育的性質を有する映画
- の翻訳又は複製を奨励するものとする。(2)各国政府は、他方の国の文学的又は芸術的な内容の著作物

## 第二名

# ユーゴースラヴィアとの文化協定

# CULTURAL AGREEMENT BETWEEN JAPAN AND THE SOCIALIST FEDERAL REPUBLIC OF YUGOSLAVIA

The Government of Japan and the Government

of the Socialist Federal Republic of Yugoslavia,
Desirous of promoting and deepening the

cultural, scientific and educational relations

and understanding between the two countries,

Have decided to conclude a Cultural Agreement and have agreed upon the following articles:

# ARTICLE 1

1. The two Governments will accord each other every possible facility so as to assure the better understanding of the culture of each country in the other country, especially by means of:

- (a) books, periodicals and other publications;
- (b) lectures, concerts and theatrical performances;
- (c) art exhibitions and other cultural exhibitions;

television, radio and other similar

means; and
(e) cultural, scientific or educational
 films.

(d)

 Each Government will encourage the translation or reproduction of literary or artistic works of the other country.

# ARTICLE

# 五五五

資学 格証書 び

の化相 奨の手 励研国

0

各国政府は、

自国

[の大学その他の教育研究機関にお

国の文化に関する問題を取り扱う講義の創設及び拡

充を奨励 ける他方

するものとする。

## 第四条

が格証 認められるようにするための方法及び条件を研究するも 学修了の際に大学その他の教育機関から与えられる学位 両国政府は、 修学上の目的のために、 書又は当該一方の国において与えられるその他の 5 ずれか一方の国におい 他方の国においても同等 て修学中 K 若 )資格証 Ö ī 価 及 Š のとす びび資 値を 書

# 第五条

る。

奨 学 金

与えるための方法を研究するものとする。 けることができるように、 おいて相手国の国民が修学及び研究を行ない、 各国政府は、 自国における科学、 これらの者に奨学金その他 技術又は産業に関する機関 又は訓 の便 練を受 位宜を

第三条

究文

するものとする。 学又は教育に関する機関の構成員の両国間における交換を奨励

**交学** 換 等 の

両国

一政府

は、

授、

学者、

学生、

技術的

専門家及び文化、

科

change between the two countries of professors,

The two Governments will encourage the ex-

bers of cultural, scientific and educational scholars, students, technical experts and mem-

# ARTICLE

institutions.

culture of the other country. of courses treating any subjects concerning the and other educational or research institutes lishment and development at its universities Each Government will encourage the estab-

# ARTICLE

of the two countries, may be recognized as equiof the study at universities or other educationplomas, acquired in the course of or at the end poses. valent al institutes or other diplomas obtained in one and conditions with which the titles and di-The two Governments will study the means in the other country for academic pur-

# ARTICLE 5

or to acquire training in the scientific, scholarships and other facilities in order to provide the nationals of the other country with technical and enable such nationals to make study and research Each Government will study the measures industrial institutions in its

<b>有批</b> <b>効</b> 粗 期及 間で		協.		の <b>運</b> 奨動 励競 技		の <b>博</b> 利物 用館 等		間 <b>文</b> の化 協関 力関
1 この協定は、批准されなければならない。この協定は、べ	第十条	ものとする。 この協定を実施するための計画その他の事項について協議するこの協定を実施するための計画その他の事項について協議する、両国政府は、必要なときはいつでも、通常の外交経路を通じ、	第九条	競技を奨励するものとする。 「両国政府は、両国のスポーツ団体の間における協力及び運動	第八条	とする。図書館その他の資料収集施設の利用について便宜を与えるもの図書館その他の資料収集施設の利用について便宜を与えるもの名国政府は、自国において、相手国の国民に対し、博物館、	第七条	おける協力を奨励するものとする。 両国政府は、両国の文化、科学又は教育に関する機関の間に

# ARTICLE 6

第六条

operation between cultural, scientific and educational institutions of the two countries. The two Governments will encourage the co-

# ARTICLE 7

Each Government will accord in its country, the nationals of the other country the facilities of access to museums, libraries and other documentation centers.

# ARTICLE 8

tion and competition between sports organizations of the two countries. The two Governments will encourage coopera-

# ARTICLE 9

consult with each other through regular diplofor the implementation of the present Agreement. matic channels on such matters as programmes The two Governments will, whenever necessary,

# ARTICLE 10

The present Agreement shall be ratified and shall enter into force on the date of exchange

五五七

ユーゴースラヴィアとの文化協定

ユーゴースラヴィアとの文化協定

る。 ルグラードで行なわれるべき批准書の交換の日に効力を生ず

2 に対し文書による一年前の予告を与えることにより終了させ

られるまで効力を存続する。 の政府がこの期間の満了の際又はその後いつでも他方の政府との協定は、三年間効力を有し、その後は、いずれか一方

以上の証拠として、 両国政府代表は、 この協定に署名した。

作成した。 千九百六十八年三月十五日に東京で、英語により本書二通を

日本国政府のために

三木武夫

ユーゴースラヴィア社会主義連邦共和国政府のために

クリスト・ブライイッチ

of instruments of ratification which shall take

period or at any time thereafter. to the other Government at the end of that Government by giving one year's written notice in force thereafter until terminated by either The present Agreement shall remain in force for a period of three years and shall continue place at Belgrade.

Agreement. the two Governments have signed the present IN WITNESS WHEREOF, the representatives of

thousand nine hundred and sixty eight. at Tokyo, this fifteenth day of March, one DONE in duplicate in the English language,

For the Government of Japan:

(Signed) Takeo Miki

Federal Republic of Yugoslavia: For the Government of the Socialist

(Signed) Krsto Bulajić

(参考)

の他必要な措置をとるべく努力することを定めるものである。 との協定は、 日本とユーゴースラヴィアとの間の文化関係増進のために、 両国が広報、 学者交流そ

五五八